2020 年度　プログラミング基礎Ⅰ　環境構築資料（2020/10/13 版）

本講義では，コンピュータ基礎で構築した Linux 環境を使用する．
プログラムの作成・編集は，【emacs】を利用することを推奨する．
C 言語プログラムを実行するために，【gcc】コマンドのインストールを行う．【gcc】については，第２回講義で説明する．
使用する OS（Windows / Mac / Linux）に応じて，手順に従い，環境を構築すること．
１．【Windows 版】WSL 環境の利用（【】は入力コマンドを示す．【】を除いて実行すること．）
１－１．Ubuntu を起動後，以下のコマンド（ソフトウェア更新のため）を実行する．
**【sudo apt update】**
**【sudo apt upgrade】**
１－２．上記コマンドを実行時に，管理者のパスワード入力を行う．
１－３．**【sudo apt -y install gcc】**とコマンド入力する．
１－４．インストール完了後，**【gcc -v】**とコマンド入力する．
コマンドの実行時の画面例，入力完了と確認画面例を図１，２に示す．

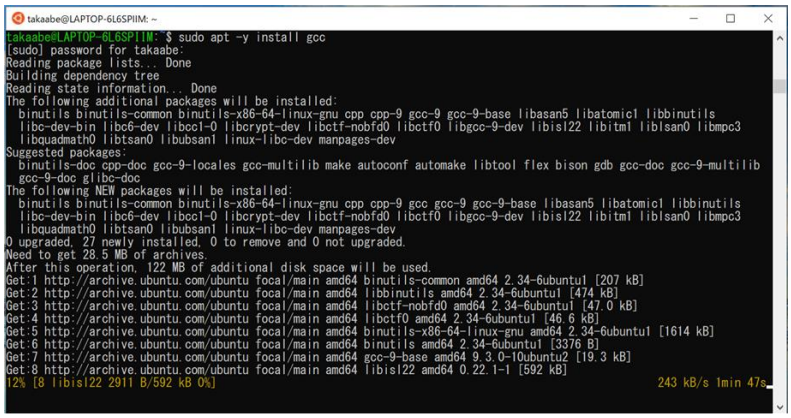

図１．インストールコマンド実行時画面

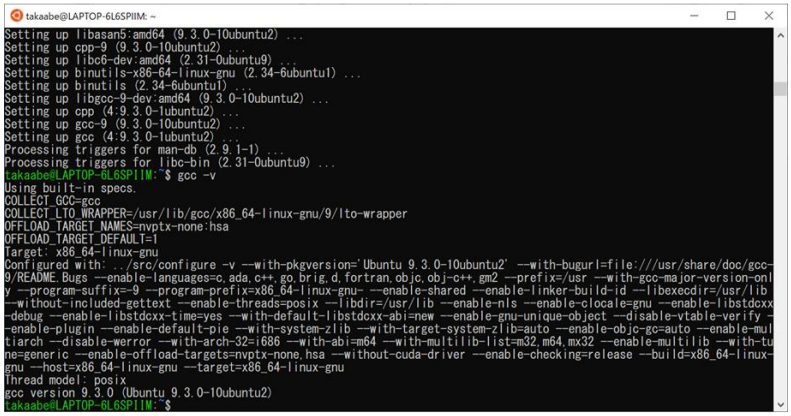

図２．インストール完了と確認画面

２．【Mac 版】

２－１．アップルストアにて，【xcode】アプリをインストールする（図１）．

サイズが大きいので，ダウンロード，インストールに時間がかかるので，注意すること．

２－２．インストール完了後，ターミナルを開いて，【gcc -v】をコマンド入力する（図２）．

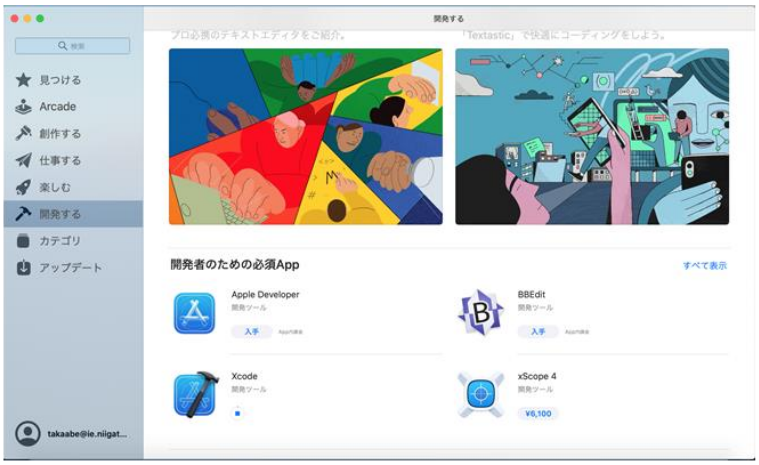


図３． Apple ストアでの開発ツールの検索画面

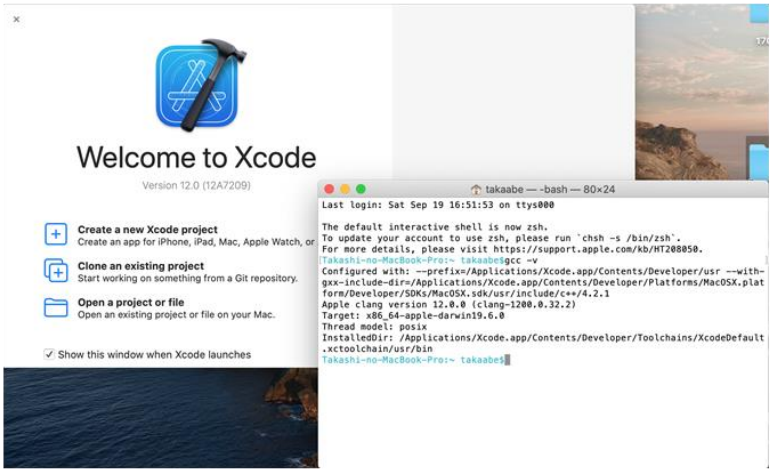


図４． Xcodeの画面とターミナルでの【gcc -v】の実行例

３．【Linux 版】
基本的には，【gcc】はイントール済みのはずである．
もし【gcc -v】とコマンド入力して，エラーが表示された場合，gcc パッケージをインストールして下さい．

４．その他：Web ブラウザを介して，大学の計算機演習環境を利用する．

上記１～３で環境構築を行うことができない場合，大学の計算機演習室環境を利用できる．利用方法については，別途，個別に説明するので，講義担当教員へ連絡すること．

５．【非推奨】その他：Web ブラウザを利用したプログラミング

上記１～３以外での C 言語のプログラミング環境として，Web 上に公開された C 言語のオンラインコンパイラを利用することもできる（図５）．

--URL

https://repl.it/languages/c

--

大学のメールアカウント（gmail アカウント）でログインすれば，ファイルの保存も可能である．また，C 言語以外のプログラミング言語も利用可能なので，興味のある方はお試し下さい（図６）．

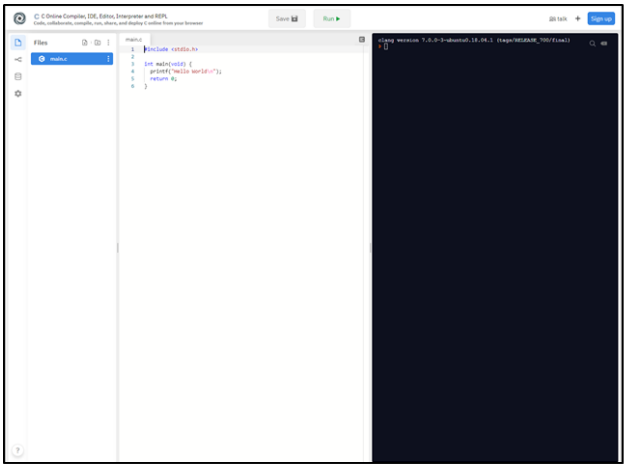

図５．参考サイト画面

図６．利用可能なプログラミング言語